

公安委員会定例会議(第25回)の開催状況

- 第1 日時 令和6年10月2日(水)
午後2時07分 ～ 午後3時33分
- 第2 出席者 五葉委員長、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長
- 第3 議事の概要
- 1 決裁事項
 - (1) 公安委員会定例会議の会議録
総務室から、令和6年第24回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。
 - (2) 警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付
総務室から、警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付について伺いがあり了承した。
 - (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
 - (4) 警察職員等の援助要求
警備部から、警察職員等の援助要求2件について伺いがあり了承した。
 - 2 報告事項
 - (1) 電子決裁機能を付加した文書管理システムの導入
警務部長から、電子決裁機能を付加した文書管理システムの導入について報告があった。
委員から、「民間企業においても、政府や地方自治体等からの指導もありDX化が急速に進んでいる。DXの推進により、業務の効率化、省力化が期待できることから、今後も積極的に取り組んでいただきたい」との発言があった。
委員から、「電子決裁は、ペーパレス化や印刷費等の削減につながるなどメリットが大きいことから、積極的に進めていただきたい」との発言があった。
 - (2) 空き家対象のエアコン室外機をねらった連続窃盗事件の検挙(愛南署)
刑事部長から、空き家対象のエアコン室外機をねらった連続窃盗事件の検挙について報告があった。
委員から、「エアコンはフロンガスを使用していることから指定業者による点検や回収が必要となるが、無許可で取り扱っているスクラップ業者があるとの風評がある。こうした業者の存在が本件窃盗事件のような犯罪の温床となるほか、フロンガスの放出といった問題を引き起こす可能性もあることから、関係部門で連携して取締りに努めていただきたい

い」との発言があった。

委員から、「エアコンや室外機には銅や鉄の金属部品が多く使われていると聞く。動機等の説明はこれからだと思うが、同種事件の犯行を防ぐためにも、本件の捜査を徹底し全容を明らかにしていただきたい」との発言があった。

(3) 自転車対策の推進状況等

交通部長から、自転車対策の推進状況等について報告があった。

委員から、「本年11月1日施行の改正道路交通法により、自転車の携帯電話使用や酒気帯び運転について罰則が整備され、これまで以上に自転車の安全運転が求められることから、検挙件数のみならず、検挙に至らない指導警告件数なども機会を捉えて公表すると、より県民に実態が分かりやすいと思われる。また、自転車ヘルメットに関して、先日、国家公安委員長より「愛媛県の着用率は非常に優秀である」旨の発言があったことから、引き続き着用率の向上に努めていただきたい。他方で、電動キックボード様のものである無謀な運転を見かけることがあるので、正しい利用方法について広報啓発をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「自転車の交通違反について毅然と対応していることがよく分かった。道路交通法の改正により酒気帯び運転等に罰則が盛り込まれることから、広報啓発に努めて周知を図るとともに、取締り強化に努めていただきたい」との発言があった。

(4) 松山大学薬学部教職員に対するアウトリーチ活動の実施

警備部長から、松山大学薬学部教職員に対するアウトリーチ活動の実施について報告があった。

委員から、「技術情報の流出対策は経済安全保障の課題であるが、企業によっては、技術がない、お金がないといった事情で誰かと手を組んで開発研究に取り組むことがある。しかし、相手が善人か悪人か区別がつかない場合もあり、こうした取組によって対応策を教示いただくと非常に分かりやすいことから、今後も継続していただきたい」との発言があった。

委員から、「技術情報の流出等、経済安全保障に関する事案は潜在的で、その対策は非常に難しいと思う。正に情報を盗む側と取締り機関の攻防といえるが、日本の先端技術を守るため、今後の活動に期待したい」との発言があった。

3 その他
なし。

以上